

令和5年5月26日

自由民主党 介護福祉議員連盟
会長 麻生 太郎 様

骨太方針 2023 策定に向けた意見、要望について

全国介護事業者政治連盟
会長 久野 義博

一般社団法人全国介護事業者連盟
理事長 斉藤 正行



平素から介護・障害福祉業界へのご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
骨太方針 2023 策定にあたり下記の点についてご検討くださいますようお願いいたします。

(1) 介護・障害福祉分野の処遇改善・人材確保について

介護・障害福祉従事者の人材確保難は今後さらに深刻化することが想定され、更なる処遇改善については継続的かつ恒常的な制度として支援をお願いしたい。

一方、現状の介護・障害福祉従事者に対する処遇改善関連加算は3つの加算から成り立っており、計画や報告、申請等の手続きが非常に複雑かつ煩雑になっていることから、加算の一本化による負担軽減及び配分ルールについて事業者自身の柔軟な運用の実現をお願いしたい。

(2) その他の論点について

①介護・障害福祉分野におけるICT・AI・ロボット活用促進、医療DX等の更なる推進とともに、現場の負担軽減や質の向上に応じて人員配置基準、運営基準、設備基準の緩和について積極的に検討頂きたい。

②人材確保にかかる経費は増加し続けており、人件費の高騰と相まって事業者の経営を圧迫する一つの要因となっていることから、有料職業紹介事業の適正化に向けた取り組みの強化と人材サービス総合サイトにおけるルールを逸脱した事業者の公表の仕組み等罰則強化策の追加を検討頂きたい。

③介護分野においては科学的介護情報システム「LIFE」の導入と定着によって、エビデンスに基づいたサービスの提供と評価の仕組みが確立しつつあることから、「LIFE」に関連する各種加算等の拡大とアウトカム評価の拡充を検討頂きたい。